



ささりんどう

令和8年
2月17日

第10号

「学校中、いつでも明るい笑い声」～第3回校内人権週間・ふれあい葦高祭り～

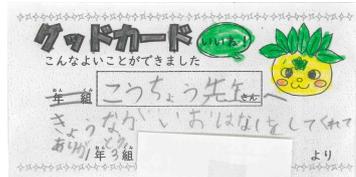


葦高小では、学期に1回人権週間を設けて、人権意識を育てる取り組みをしています。3学期もテーマにある通り、いつでも学校中に明るい笑顔と楽しそうな笑い声があふれる学校にしていきたいとの思いで、クラスごとにめあてを作って活動したり、サブテーマである～自分っていいな 友達っていいな～と心から感じることができることをねらった取組を全校で行ったりしました。期間の最終日、13日(金)には、その締めくくりイベント「ふれあい

葦高祭り」を盛大に開催しました。4～6年生の児童が、各クラス2～3つのお店を出し、店番を交代しながら、全校児童がお客さんになって好きなお店を回って楽しめます。お店で遊べる内容は、それぞれ工夫を凝らしていて、小学生ならではの発想に感心してしまうこともよくあります。店番の児童とお客さんの児童が楽しく活動する中で様々な触れ合いもあり、3学期のよい思い出の1ページとなりました。

友達のすてきなところを見つけたら グッドカード！

先生や友達にほめられたり感謝されたりすると、誰かの役に立ってうれしいと感じたり、自分にはよいところがあると感じたりして、自己有用感や自己肯定感が育まれます。学校に行くのも楽しくなります。人権週間には友達のすてきな発言や行いを見つけたら、その内容を「グッドカード」に書いて学年のポストへ入れます。すると、そのカードは担任の先生から相手の児童に届きます。よい内容のカードはお昼の放送で紹介されることもあります。中には先生方にもカードをくれる優しい児童もいて、職員室にも何枚か届くことがあります。カードをもらうと心が温かくなるような気がします。



寒さに負けるな！～業間なわとび～

1月2月は1年で1番寒い時期。そんな時だからこそ外で運動して体を鍛えよう！ということで、毎年この時期には業間運動をしています。冷たい風が吹く中、火曜日

はなわとび、木曜日は長なわとびをします。担任の先生方も児童

に負けじと、クラスの先頭と一緒に跳んでいる先生もいます。全校児童約600人が曲に合わせて一斉になわとびをする様子は壮観です。心と体を鍛えて、元気に楽しく毎日を過ごしてほしいと思います。

